

子宮がん・乳がん検診のご案内

◎2月2日(日)、3日(月)は、今年度最後の婦人科集団検診となります。お見逃しのないようお申し込みください。

◎2月2日(日)の婦人科集団検診は、お子さんと一緒に待てる部屋をご用意します。お母さんが検診を受けている間は、スタッフが託児しますので安心して検診が受けられます。

検診予約
空き状況
確認はコチラ



【予約方法】

■検診会場：保健福祉センター（古川1015 - 1）

Step1 希望の時間・項目を選ぶ

実施日	予約受付期間	午前		午後		託児室
		乳がん	子宮がん	乳がん	子宮がん	
2月2日(日)	12月18日(水)～	●	●	●	●	●
2月3日(月)	定員まで	●	—	●	●	—

■検診項目・負担額

- 子宮がん検診 20歳以上…1,000円
 - 乳がん検診
 - 20～39歳：超音波検査…600円
 - 40～56歳：超音波検査+マンモグラフィ…1,200円
 - 57歳以上：マンモグラフィ…600円
- ※マンモグラフィは、2年に1回の受診となります。

婦人科検診は医療機関でも受けられます

市では、集団検診のほかに医療機関検診も実施しています。検診を受けるには「受診券」の申請が必要です。受診券の申請方法は下記のとおりです。負担額・登録医療機関は、ホームページまたは健康管理予定表をご確認ください。

- ▶受診券の申請方法：健康増進課窓口または電話で「受診券」の発行を申請してください。
- ▶申請期限：令和2年3月13日(金)
- ▶受診券有効期間：発行日～令和2年3月31日(火)

Step2 予約受付期間内に①または②の方法で申し込む

- ①予約専用電話（☎0297 - 25 - 2983）にて申し込む
 - ②健康増進課窓口で直接申し込む
- ※予約受付時間は①②共通で午前9時～午後5時です。定員になり次第締め切ります。

「注意事項」

- ★妊娠中の方は、市が実施する検診の対象になりません。
- ★検診は、異常の有無を見つけることが目的のため、乳房のしこりや不正出血などの自覚症状のある方、検診部位の病気で治療中・経過観察中の方は医療機関への受診をお勧めします。
- ★子宮がん検診
 - ・性交経験のない方、初めて受診される方は、医療機関検診をご利用ください。

- ★乳がん検診
 - ・マンモグラフィは2年に1回の検診となります。そのため、41歳～56歳の方で、前年度マンモグラフィを受診された方は超音波検査のみとなります。
 - ・豊胸手術をされている方、ペースメーカー・カテーテルが入っている方は、マンモグラフィは受診できません。
 - ・授乳中の方は、正確な検診結果が得られない場合があります。

大人の風しん予防接種 費用の一部を助成しています

問 健康増進課（保健福祉センター内） ☎25 - 2100

- ① 妊娠20週頃までに風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんに先天性心疾患や、耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなるなどの障がい（先天性風しん症候群）が現れる可能性があります。予防のためには、予防接種が有効とされています。

市では令和元年7月1日以降に風しん予防接種を受けた方に、費用の一部助成を開始しました。

- ▼助成対象の予防接種Ⅱ令和元年7月1日以降に受けた次のいずれかのワクチン
 - 風しん単抗原ワクチン：3000円まで
 - 麻しん風しん混合ワクチン：5000円まで

▼助成対象者Ⅱ次の①～④のすべてに該当する方が、助成の対象となります。

- ▼申請方法Ⅱ次の①～⑥のものを持参の上、健康増進課まで申請してください。

- ① 予防接種を受けた日において本市に住民登録のある方
- ② 平成2年4月1日以前に生まれた方（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は除く）
- ③ 平成30年度もしくは令和元年度に受けた風しん抗体検査の結果、HI法抗体価16倍以下相当と判定された方
- ④ 次の⑦～⑩までのいずれかに該当する方
- ⑦ 妊娠を希望する女性

- ① 市大人の風しん予防接種費用助成申請書兼請求書（市ホームページでダウンロードができます）
- ② 風しんの予防接種にかかった費用の領収書原本
- ③ 風しんの抗体検査の結果（母子健康手帳など）
- ④ 対象者本人が確認できる書類（運転免許証、健康保険被保険者証など）
- ⑤ 印鑑
- ⑥ 振込口座がわかるもの
- ▼申請期限Ⅱ令和2年3月31日(火)